**取扱説明書**

## ホームシアターサウンドシステム

# 型名 TH-BA1

dts Digital Surround　AAC

**ユーザー登録のおすすめ**

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。
●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
*http://www.victor.co.jp/reg/*

お買い上げいただきありがとうございます

### ⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

**すべての接続が終わったら、電源コードをコンセントに接続してください。**

**お客様の個人情報のお取り扱いについて**

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。
- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的以外の使用をさせない措置をとります。
  ②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

## ご相談や修理は

**ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。**
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の窓口にご相談ください。

| 修理などのアフターサービスに関するご相談<br>**ビクターサービスエンジニアリング株式会社** | お買い物相談や製品についての全般的なご相談<br>**お客様ご相談センター** |
|---|---|
| 別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。 | 0120−2828−17<br>携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は<br>**電話(045)450−8950**<br>**FAX(045)450−2275**<br>〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12 |

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、上記をご覧ください。
ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

GVT0289-020B

0909WMKMDWJMM

## 保証とアフターサービス

### 保証書(別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。
「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
**お買い上げの日から一年間**

### 補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」(別紙)をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

### 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

**保証期間中は**

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

**ご連絡していただきたい内容**

| 品名 | ホームシアターサウンドシステム |
|---|---|
| 型名 | TH-BA1 |
| お買い上げ日 | 年　月　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| ご住所 | 付近の目印等も併せてお知らせください |
| お名前 | |
| 電話番号 | |
| 訪問ご希望日 | |

| 便利メモ | お買い上げ店名 | ☎(　　)　- |
|---|---|---|

### 出張修理

**保証期間が過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

**修理料金の仕組み**

| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。 |
|---|---|
| ＋ | |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。 |
| ＋ | |
| 出張料 | 製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。 |

■この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

# 安全上のご注意ーはじめにお読みください

▼ 絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

| ⚠警告 | この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。 |
|---|---|
| ⚠注意 | この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。 |

▼ 絵表示の説明

注意をうながす記号
一般的注意　感電　手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号
禁止　分解禁止　水場での使用禁止　接触禁止　ぬれ手禁止　水ぬれ禁止

行為を指示する記号
一般的指示　電源プラグを抜く

## ⚠警告

**万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。**
- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

**分解や改造をしない、カバーを外さない。**
火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

**風呂場やシャワー室では使用しない。**
本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

**本機の上に火のついたものを置かない。**
火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

**本機の中に物を入れない。**
通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

**表示された電源電圧(交流100ボルト)以外で使用しない。**
表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。
This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

**電源コードを傷つけない。**
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

**電源プラグは根元まで確実に差し込む。**
差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、ただ差し込めば、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

**電源プラグは定期的に清掃する。**
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

**本機の上に水などの入った容器を置かない。**
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

**雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。**
感電の原因となります。

**本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。**
頭からかぶると窒息の原因となります。

**本機を設置するときは**
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

本機は、電波法認可済みモジュールのDWAM81が搭載されています。

欧州連合のリサイクルマークです。

## ⚠注意

**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。**
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**
感電の原因となることがあります。

**長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。**
電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

**置き場所に注意する。**
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。**
バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

**お手入れをするときは、電源プラグを抜く。**
電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

**移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。**
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

**電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。**
- 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
- 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

**はじめから音量を上げすぎない。**
突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

**3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。**
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

**可動部の作動中には無理な操作を加えない。**
一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

**電池の取り扱いに注意する。**
電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)を間違えない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)をショートさせない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 乾電池・リチウム電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。使い終わった電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。

**ACアダプターの取り扱いに注意する。**
火災や感電の原因になるため、
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。
- 付属のACアダプターを本機以外の機器には使用しないでください。

**付属の電源コード以外は使用しない。**
火災や感電の原因となることがあります。

**付属の電源コードを本機以外に使用しない。**
火災や感電の原因となることがあります。

## 使用上のご注意

**本機の置き場所について**

- 故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。
  湿気やほこりの多い所、バランスの悪い不安定な所、熱器具の近く、OA 機器やけい光灯のすぐそば、風通しの悪い狭い所、直射日光の当たる所、極端に寒い所、振動の激しい所、他のアンプ、チューナーのそば、磁気を発生する所
- 本機はカラーテレビに対して色むらを起こさないように防磁処理をしたスピーカーですが、設置方法によっては色むらが生じる場合もありますので、設置の際は次の点に注意してください。
  1 本機と一緒にテレビを使用する場合は、必ずテレビの主電源スイッチを切った状態で設置してください。
  なお、テレビの主電源スイッチは、切ってから少なくとも30分後に入れるようにしてください。
  2 テレビの種類によっては、色むらを生じることがあります。色むらを生じるときは、十分離して設置してください。

ご注意
- 本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

**本体の清掃**

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意
- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

**ステレオを聞くときのエチケット**

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762、6,487,535およびその他の国における特許(出願中含む)に基づき製造されています。DTSおよびDTS Digital SurroundはDTS社の商標です。DTSロゴおよび記号はDTS社の商標です。©1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.
- AACロゴはドルビーラボラトリーズの商標です。

## 準備する

ご注意
すべての接続が終わるまで、電源コードをコンセントに差し込まないでください。

### 付属品の確認

お使いになる前にお確かめください。
- ACアダプター AA-R1901(1個)
- 電源コード
- リモコン RM-STHBA1(1個)
- リチウム電池 CR2025 (リモコン動作確認用・1個)
  – 出荷時にリモコンの中に入っています。
- コアフィルター(2個)

### リモコンの準備

初めてリモコンを使用するときには、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

**電池を交換する**
操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。

**1** 電池ぶたのつまみを押す

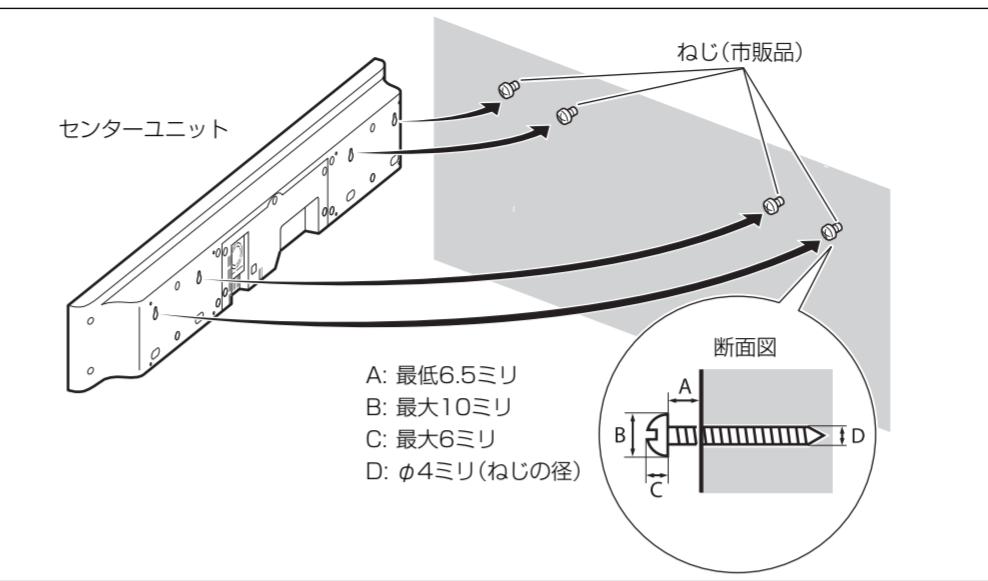
**2** 電池ぶたを引き出し、電池の＋面を上にして入れる

ご注意
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は、「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

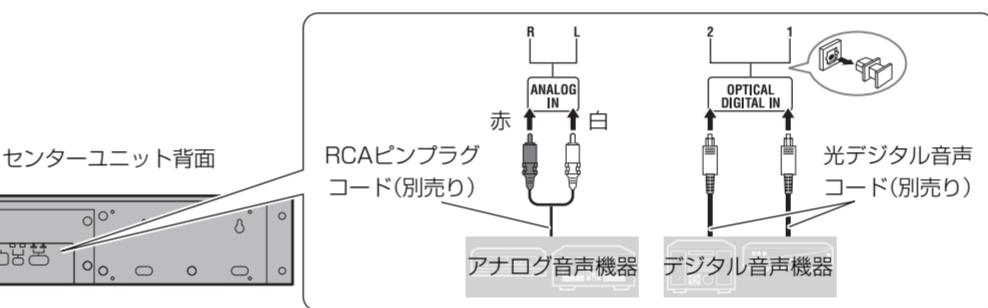
### スピーカーの設置

スピーカーは段差のない平らな場所に設置してください。
- 音質はスピーカーの設置場所により影響を受けます。音質に不具合を感じた場合は、スピーカーの設置場所または向きを変えてください。
- スピーカーをテレビの近くに設置すると、テレビの映像にひずみが生じることがあります。その場合は、テレビの主電源を切るか、スピーカーを設置する前に電源プラグをコンセントから抜いてください。それでも改善されない場合は、テレビから離れた場所にスピーカーを設置してください。

### 壁への取り付け

センターユニットは壁に取り付けることもできます。

ご注意
- センターユニットの重さは約3.5キロです。落下による事故を防ぐために、取り付けるときには注意してください。
- 落下を防ぐためにも、十分な強度を持つ柱や壁、ネジを用い取り付けてください。
- ベニヤ板や石膏ボード類には設置しないでください。落下する恐れがあります。
- 壁へ取り付けるときには、以下のことにご注意ください。
  – 必ず専門の業者に依頼してください。
  – 取り付ける場所は慎重にお選びください。日常生活の妨げになる場所はお避けください。
  – ACアダプターは必ず平らな床へ置くようにしてください。

### 外部機器の接続

アナログ端子にはアナログ音声機器を、デジタル端子にはデジタル音声機器を接続できます。

### 電源コードの接続

すべての接続が終わったら、電源コードをコンセントに接続してください。
- 付属のACアダプターをセンターユニットのDC IN端子に接続してください。付属の電源コードをACアダプターに接続してから、コンセントに差し込んでください。
- サブウーハーの電源コードもコンセントに差し込んでください。

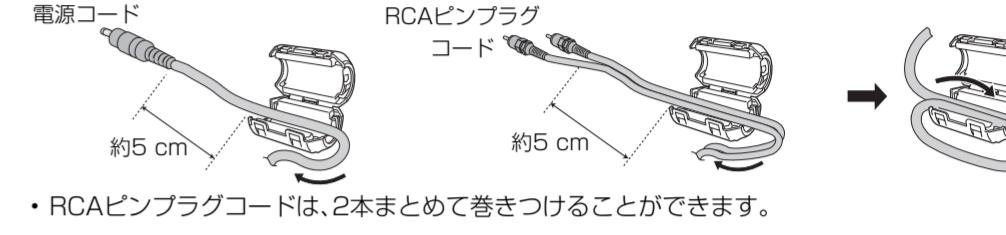
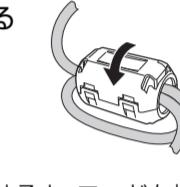
ご注意
- スピーカーの掃除や移動は、必ず電源コードをコンセントから抜いて行なってください。

### コアフィルターの取り付け

電源コードやRCAピンプラグコードをコアフィルターに挟み込むことにより、ノイズを軽減させることができます。

**1** コアフィルターのストッパーをはずす

**2** コアフィルターにコードを通し、さらにコードを一巻きさせる

- RCAピンプラグコードは、2本まとめて巻きつけることができます。

**3** コアフィルターを「カチッ」という音が鳴るまで閉める

ご注意
- 巻き付けるときに無理な力を加えてコードを引っ張ったりすると、コードを損傷させる恐れがあります。

### サブウーハーの設定

本機にはワイヤレスサブウーハーが付属されています。初めてワイヤレスサブウーハーを使うときは、ワイヤレス接続を行います。
詳しくは別紙の「ワイヤレス接続(ペアリング)について」をご覧ください。

お知らせ
- ワイヤレス接続を行なったあとに、本機の電源を切って電源コードをコンセントから抜いても、接続は解除されません。

## 操作する

### フロントパネルのボタンとランプ

1 **電源ボタンとスタンバイランプ**
本機の電源を入/切(待機)します。
- 電源が切れている間は、スタンバイランプが点灯します。

2 **入力切換ボタンと入力表示ランプ**
入力を切り換えます。
選択した入力のランプが点灯します。

3 **サラウンドボタンとサラウンドモード表示ランプ**
サラウンドモードを選びます。
- 選択したサラウンドモードのランプが点灯します。
- DOLBY PRO LOGIC IIは次のときに点灯します。
  – アナログ入力で、サラウンドモードがオンのとき
  – ソース(音源)がデジタル入力の2チャンネルCD-DAフォーマットで、サラウンドがオンのとき

4 **リモコン受光部**
リモコンの信号を受信します。

5 **デジタル信号ランプ**
入力がデジタル1またはデジタル2のときに、音声信号に応じて点灯します。
– DOLBY DIGITAL: ドルビーデジタル
– DTS: DTS
– PCM: リニアPCM
– AAC: AAC

6 **ディスプレイ**
スピーカーの出力レベルを表示します。

7 **音量調節ボタン**
0から40の範囲で音量を調節します。

### 基本操作

**電源を入れる／切る**

[電源]を押す
- センターユニットの電源ボタンも使えます。

お知らせ
- サブウーハーの電源も連動します。電源が切れている間は、サブウーハーのスタンバイ/オンランプが赤く点灯します。
- 電源を切っている状態(待機状態)でもわずかに電力を消費します。完全に電源を切るときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
- デジタル 1、デジタル 2、アナログのいずれかのボタンを押しても電源を入れることができます。

**入力を切り換える**

デジタル 1、デジタル 2、アナログのいずれかのボタンを押す
ディスプレイにD1(デジタル1)、D2(デジタル2)またはAN(アナログ)と2秒間表示されます。
- 選択した入力のランプが点灯します。
- フロントパネルの入力切換ボタンも使えます。

**音量を調節する(調節可能範囲:0～40)**

[音量＋][音量－]を押す
- フロントパネルの音量調節ボタンを使うこともできます。

ご注意
- 音声を出力する前には音量を小さくしてください。音量が最大に設定されていると、スピーカーが破損したり、聴覚障害の原因となることがあります。

**一時的に消音する**

[消音]を押す
- 音量を元にもどすには、もう一度押すか、[音量＋][音量－]で音量を調節してください。

**音声を聞き取りやすくする(ドルビーデジタルまたはDTSのみ)**

録音レベルが低い音声を、聞きとりやすくすることができます。(ダイナミックレンジコンプレッション)
[DRC]を押す
ボタンを押すごとに、次のように設定が変わります。
聞きとりやすくする➡より聞き取りやすくする➡解除する

**ディスプレイの明るさを変える**

フロントパネルのディスプレイの明るさを変えることができます。
[ディマー]を押す
ボタンを押すごとに、次のようにLEDランプの明るさが変わります。
暗くなる➡消灯する➡通常の明るさにもどる

### スピーカーの出力レベルを調節する

スピーカーの出力レベルを－6dBから＋6dBの範囲で調節することができます。
**調節したいスピーカーの[スピーカーレベル＋][スピーカーレベル－]を押す**
– サブウーハー: サブウーハーの調節
– センター: センタースピーカーの調節
– サラウンド: フロントサラウンドスピーカーの調節

### サラウンドを使う

サラウンドを使うことにより、仮想のサラウンド効果を得ることができます。
**[サラウンドモード1]もしくは[サラウンドモード2]を押す**
– サラウンド1: マルチチャンネルの音声を再生するのに適しています。
– サラウンド2: ステレオ音声を再生するのに適しています。
- 選択したサラウンドモードランプが点灯します。
- サラウンドモードを解除するには、[オフ]を押してください。

## 故障かな?と思ったら

ビクターホームページ(http://www.victor.co.jp/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。

**電源が入らない。**
電源プラグをしっかり差し込んでください。

**リモコンで本機を操作できない。**
➞ 新しい電池と交換してください。
➞ リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。
➞ リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。
➞ リモコンをリモコン受光部に向けて操作してください。
➞ センターユニットに近づいて操作してください。
➞ 絶縁シートを引き抜いてください。

**音声が途切れる。**
➞ 電波が遮られています。サブウーハーの位置や向きを調節してください。

**音声が聞こえない。**
➞ サブウーハーのワイヤレス接続を正しく設定してください。
➞ 一時的に消音されています。リモコンの[消音]を押すか、[音量＋][音量－]で音量を調節してください。

**電波の反射について**
ワイヤレスサブウーハーとセンターユニットをつなぐ電波には、センターユニットから直接届く電波と、壁や家具、建物などに反射してから届く電波があります。万が一音声がうまく受信できない場合は、ワイヤレスサブウーハーの位置を動かして調整してください。
ワイヤレスサブウーハーとセンターユニットの間を人間が横切ったりすると、音声に影響を与えることがあります。

## 主な仕様

**センターユニット(CA-THBA1)**

実用最大出力
- センター/フロントサラウンド: 120 W (30 W × 4) (JEITA THD 10% / 4 Ω)*[1]

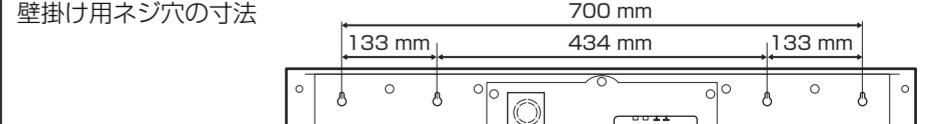
入力端子
- アナログ(ANALOG IN): 1 Vrms/50 kΩ
- デジタル(DIGITAL IN 1, DIGITAL IN 2)*[2]: −21 dBm ～ −15 dBm (660 nm ± 30 nm)
- ACアダプター(DC IN): DC 19 V ⎓ 3.37 A

スピーカー
- 種類: フルレンジ防磁形・バスレフ方式
- スピーカーユニット: 8 cm × 4
- 最大許容入力: 30 W
- 定格インピーダンス: 4 Ω
- 再生周波数帯域: 84 Hz ～ 22 kHz
- 出力音圧レベル: 82 dB/W•m

共通
- 電源: 付属のACアダプター(AA-R1901)
  入力:AC 100 V − 240 V、50 Hz/60 Hz、1.5 A - 0.9 A
  出力:DC 19V ⎓ 3.37 A
- 外形寸法: 幅900 mm ×高さ125 mm × 奥行き85 mm
- 質量: 3.5 kg

**サブウーハー (SP-THBA1)**
- 実用最大出力: 100 W (JEITA THD 10% / 3 Ω)*[1]
- 種類: 1ウェイバスレフ方式
- スピーカーユニット: 16 cm × 1
- 最大許容入力: 100 W
- 定格インピーダンス: 3 Ω
- 再生周波数帯域: 45 Hz ～ 5 kHz
- 出力音圧レベル: 82 dB/W•m
- 電源電圧: AC 100 V、50 Hz/60 Hz共用
- 消費電力: 30 W (電源入時)/0.8 W (電源待機時)
- 外形寸法: 幅215 mm × 高さ352 mm × 奥行き254 mm
- 質量: 5 kg

*[1] JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。
*[2] リニアPCM、Dolby Digital、およびDTSに対応しています。
(サンプリング周波数:32 kHz、44.1 kHz、48 kHz)

壁掛け用ネジ穴の寸法
700 mm
133 mm　434 mm　133 mm

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。